

リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮城県仙台第三高等学校（宮城県）

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

会議時間短縮による研修時間の確保 及び対話的・協働的な教員研修



（資料の電子化及び会議時間の確保）
職員会議の時間短縮を図るため、会議資料を校内ポータルサイトにデータ化する。職員は会議前にその内容を確認する。職員会議の目標時間を30分以内にする。

（校内研修）
会議時間を削減し確保した30分を使い、授業改善などの研修を行う（月1回）

（ちょこ研）
短時間でICTの便利な活用などを先生同士で教え合う（15分程度）。

（対話的・協働的な教員研修の実施）

- ・ 講師資料は、クラウドから電子データで配付する。
- ・ 研修のディスカッションでは、デジタルホワイトボードを利用して意見を出し合って結論をまとめる。研修終了後は全職員で各グループの内容を共有する。
- ・ 実施後にアンケートを実施し、次回の研修に生かす。

（本年度の研修内容の例）

授業改善、生成AIの利活用、進路指導、地域連携など

